

◆ゲスト・来訪ロータリアン紹介

◇鋸南ロータリークラブ

大里光夫会長
清水一成様



◇鋸南ロータリークラブ

高木一彦様



◆誕生日祝い

◇鈴木隆昌会員 (9/14)



◇中野麻美会員 (9/18)

◆会長挨拶

大里光夫会長

皆さんこんにちは。先週の土曜日にロードサービスの受付をしております、こんな入電が有りました。「三井住友海上のお客様で、東京湾アクアライン海ほたるパーキングにてオーバーヒートにて故障しているアルファロメオのお車が有ります。対応可能でしょうか」隊員が出払っておりますが、小生が出動可能でしたので受託いたしました。続いて「それでは詳細をお伝えします。お客様のお名前が「中後 淳」様、連絡先が 090-・・・、車の番号が袖ヶ浦・・・、それでは到着時間を連絡いただき出動よろしくお願いたします」とのこと。お客様の名前が高校時代の同級生と同じで、携帯電話で検索すると番号も一緒であったため、間違いのないと思い連絡をして作業を進めました。パーキング内で車両を積み込み、当社まで積載車両に同乗しながら近況を話していました。その話の中で「明日葬式が有るので車に喪服を入れてある。大里のところへ一度寄って荷物が入れ替えてきて助かった」、何気なく誰の葬式か尋ねると高校時代の同級生の奥様が他界されたとの事でした。中後さんは元民主党の国会議員で、現在亀田病院の特命部長をしています。亡くなられた同級生の奥様は末期がんでセカンドオピニオンと治療で亀田病院に掛かっていたようです。偶然が重なりお悔やみを伝える機会が巡ってきたことには感謝しています。同級生との縁を感じながら、昨日のエリザベス女王の葬儀をテレビ中継で見っていました。人間は生まれてくる時よりも亡くなる時が人生の歩みが現れると思います。エリザベス女王が職責に

人生をかけたことも素晴らしいですが、同級生の奥様が五十数年の期間を生きただけでもまた素晴らしい。人間には等しく命に限りがある、それまでのご縁は等しく貴重なものと感じる機会でした。

本日は富津市在住の高木様より卓話を戴きます。中後さんとも同じ地域出身で有ったかと思えます。楽しみにしております。本日も皆様よろしくお願いたします。

◆幹事報告

石田亨幹事



1. 幹事報告

1) 2022-23 年度ガバナー事務所より「ガバナーノミニー・デジグネート（2025-26 年度ガバナー候補）」のご案内が届いておりますので回覧いたします。

2. 他クラブからのお知らせ

1) 君津 RC・富津シテイ RC より「週報」が届いておりますので回覧いたします。

3. その他のお知らせ

1) 木更津市交通安全推進協議会より「秋の全国交通安全運動の実施について」が届いておりますので回覧いたします。

2) 青森県大雨災害支援金について、本日もご協力をよろしくお願いたします。

4. 回覧

- ・ 2022-23 年度ガバナー事務所より「ガバナーノミニー・デジグネート（2025-26 年度ガバナー候補）」のご案内
- ・ 君津 RC・富津シテイ RC より「週報」
- ・ 木更津市交通安全推進協議会より「秋の全国交通安全運動の実施について」

◆委員会報告

◇社会奉仕プロジェクト委員会 宮寺順子会員



こんにちは。お手元にお配りした資料について社会奉仕プロジェクト委員会から報告させていただきます。

木更津市在住の小学校 2 年生、川西あゆみちゃんが、再生不良性貧血と言う病気と戦っています。この病気の退治方法は骨髄移植しかないそうです。社会奉仕委員会として何かお手伝いできないか、ということになり、骨髄バンクのご登録を、皆様にご協力願いたいと思います。

皆さまは年齢的にほとんどの方が登録出来ないと思いますが、会社の社員やご家族、取引先等に広く知っていただきたいとの想いでご案内しております。ぜひご協力をお願いします。また今後の展開については委員会などで検討していく予定です。

◇国際奉仕・ロータリー財団委員会

林孝二郎会員



先週 9 月 17 日にロータリー財団セミナーが千葉市内で開催され、私は Zoom で参加しました。2790 地区の財団資金管理・寄付推進委員

長であるわがクラブの堀内さんから財団の歴史や資金活用の仕組みの説明がありました。その後、堀内さんがコーディネーターとなり、財団補助金を活用している3つのクラブの代表がパネラーとなってパネルディスカッションが行われ、堀内さんの名司会ぶりもあって大変有用なお話を聞くことができました。

堀内さんご苦勞様でした。今後の当クラブの活動に生かせるのではないかと思います。

余談ですが、我が家のパソコンの脇でセミナーの様子を聞いていた家族がロータリー活動の一端を知ることができたのは、Zoom参加の思ってもみなかった効果でした。

◆ニコニコボックス報告

親睦出席委員会 大澤藤満会員



◇鈴木隆昌会員

この頃、まともに誕生日のお祝いはされたことがないので、少し恥ずかしい感じです。ありがとうございます。

◇藤野宏冶会員

本日例会を担当する藤野です。本日は日本防災士の高木さんに防災活動とロータリーの活動との連携について講演いただきます。宜しくお願い致します。

◇大里光夫会長

鋸南ロータリークラブ高木様、清水様、来訪有難うございます。

◇SAA

松岡邦佳会員・山田修平会員・内田重会員
久しぶりに、本日食事の数がぴったりでした。ありがとうございます。今後も続けたいので、出欠の連絡よろしくお願いします。

◇石田亨幹事

木更津法人会の研修委員会に所属している石田です。10月29日(土)かずさアカデミアホールで為末大氏の講演会があります。会費は無料です。チケットが欲しい方は石田まで。現在クセンしています。よろしくお願いします。

◆出席報告

大澤藤満会員

■例会アワー

◇職業奉仕公共イメージ委員会

藤野宏冶会員



◇卓話者

日本防災士会千葉県支部副支部長
鋸南ロータリークラブ会員 高木一彦様



「職業奉仕の視点でみた防災」

～ロータリアンに出来ること～

自己紹介

名前は先程紹介されました通り「高木一彦」と申します。

職業は木製建具・家具の製作をしており、ロータリー歴は2015年～2020年まで「富津シティロータリークラブ」に所属し、その後

ロータリークラブを一旦お休みしておりましたが、本年度から鋸南ロータリークラブ会員として復帰いたしました。鋸南ロータリークラブ会員として復帰したのは、本日も来ていますが同期入会、同期会長である清水会員の存在が大きかったです。

私が防災士として活動を始めたきっかけですが、「令和元年房総半島台風」で被災し、被災者を救済するために「富津市災害ボランティアセンター」を立ち上げからサポートし運営メンバーの一員として活動した経験から、今以上に防災の知識と意識向上が必要と考えたからであります。防災士としても経験は浅いですが、実践経験を買われ本年度から副支部長を務めております（ちなみに、防災士の資格は清水会員と一緒に受けに行きました）。

さて、防災士とはなんぞやという方もいらっしゃると思いますので簡単に説明いたします。防災士は「日本防災士機構」という民間団体が認定する資格で公的な資格ではありませんが、近年の多発している大規模災害に備える為、防災の知識を得る手段として行政職員等にも取得する方が増えています。また、自治体によっては防災士の資格を取得する助成をしている所もあります。現在、防災士の資格を取得した方は全国で約23万6千人、千葉県内で7千人になります。防災士機構によると「防災士とは“自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人です。」と記載されており、映像にも出ておりますが、今回は“共助”“協働”の部分のお話となります。

ここからが本題となります。私のような若輩者が諸先輩を前に職業奉仕を語るなど、大変おこがましいことと思っておりますが、私なりに解釈して防災と結びつけましたのでお聞きください。今回の卓話の話しをいただき、改めて職業奉仕とは何か見つめなおしてみました。私自身、ロータリー歴が長いわけでも

なく、ましては2年ブランクを経て再入会した者からすると、職業奉仕について理解が浅く、色々と勘違いをしておりました。社会に奉仕する、すなわち他人に奉仕することは社会奉仕であり、職業奉仕ではない……。色々と「職業奉仕とは」と書かれた文献をみているうちに「防災と職業奉仕を結びつけるのは難しいのではないのか」と思うようになりました。防災というと、いざ災害が起きた時に被害を最小限に抑えること、被災された方々を支援する準備をすること等、どれも他人の為、社会の為であり、これはどれも社会奉仕であります。しかし、更に読み込む内に「職業奉仕」を明確に定義する事は難しく、色々な解釈があつて良いと思えるようになりました。こちらの図は「ロータリーの樹」と呼ばれている、職業奉仕を理解する上で最も良い資料とされている物ですが、本日は時間がありませんので説明は割愛させていただきます。今回は、色々調べた「職業奉仕とは」という文献の中から防災に結びつける事ができる解釈を見付けましたので、こちらを参考に話をしていきたいと思っております。

私は災害ボランティアセンター運営に特化した活動をしてきました。この活動の中で、日頃からの地域との繋がりや信頼関係が非常に重要だと気付きましたので、そんな視点からお話させていただきます。その活動の中、支援に駆けつけてくれたロータリアンを紹介します。東京立川ロータリークラブの松浦会員です。彼は、松浦商事という産業廃棄物や清掃業務行っている会社の社長で従業員を連れて毎週末会社のトラック、パッカー車、高所作業車、チェーンソー等、その時のニーズによって様々な機材を持ち込んで作業をしていただきました。彼の行動は、被災者を助けたいという社会奉仕ではありますが、それと同時に従業員に社会奉仕の理念を実践で体験させ、日頃の仕事でのスキルが仕事以外でも社会の役に立つことを示していました。被災者からの感謝の言葉を受けた従業員の方々は率

先して休み返上でボランティア活動を行い、仕事もより一層真剣に取り組むようになったそうです。これは、職業奉仕にあたるのではないのでしょうか。

それでは、このように日頃の仕事が災害支援や防災に繋がらない方々はどうすればよいのでしょうか。そこで活かされてくるのは皆様が日頃から職業やロータリー活動の中で育んできた地域との繋がりや信用だと考えます。大規模災害が発生し、災害ボランティアセンターが立ち上がると全国からボランティアが被災地にやってきます。災害ボランティアセンターは各自治体の社会福祉協議会が立ち上げ運営していくこととなりますが、通常の業務もある中極度の人手不足に陥ります。市外県外から応援スタッフが来ますので運営自体は可能なのですが、ニーズ調査や現地案内や地域の方々とのやり取り等、地域に精通した信頼出来るスタッフはどこのボラセンに行っても少ないのが現状です。被災者の中には他の地域からきたボランティアを敬遠して断ったり、被災していてもボランティアを頼むこともしない方もいます。そんな時に地元の信頼出来る方が仲介に入ることで素直にボランティアを受け入れることが出来るようになります。また、ボランティアセンター運営だけでなく、通常のボランティアとして活動した場合でも作業は手慣れたボランティアに任せて、被災者や地域とのやり取りを行って作業がスムーズに行えるようチームリーダーとして活動することも可能です。

こちらは白井市での事例ですが、災害ボランティアセンター支援の協定を市内のロータリークラブ、ライオンズクラブ、商工会、建設業組合、造園業組合等と締結し発災時に連携して災害ボランティアセンターを効果的、効率的に運営する事を目的としています。これは県内では初の試みだと認識しております。

こちらは、我が鋸南ロータリークラブの堀田幹事が代表を務める「鋸南復興アクセラレーション」という団体です。県内で初めて地

元から立ち上がった災害支援団体が社会福祉協議会内の私設ボランティア団体として今も活動を継続しています。「鋸南RCV」と合わせて地元で被災者に寄り添う活動はロータリアンの奉仕の理想を具現化した活動だと思っています。

こちらは、私が立ち上げに関わった「ふっつ防災ネットワーク」という団体です。市内の防災士と郵便局長会、災害支援に関心のある有志市民がメンバーとなっています。まだ今年正式に立ち上がったばかりですので市のボランティア団体として登録し、災害に備えてこれから活動をしていきます。

社会奉仕の理念はどの団体もあると思いますが、ロータリークラブならではの職業奉仕の理念をもって貢献することがロータリアン独自の支援体制を確立できると私は考えます。

最後に、木更津市でも様々な企業や団体と災害時応援協定を結んでいます。今の話しのように災害ボランティアセンター運営に関する協定は「愛・知・人」という災害支援団体だけのようです。社会福祉協議会との災害時の協定は確認できませんでした。そこで提案というよりお願いです。いきなり市や社協との協定は難しいと思いますので、この卓話を機会に地域防災や災害支援体制について皆さんで話す場を作ってみませんか？そしてロータリアンとして、どう向き合うべきか今一度考えていただければ幸いです。

本日はご静聴ありがとうございました。



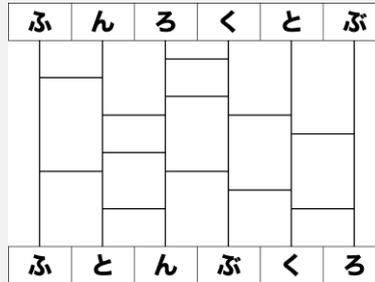
◆点鐘 大里光夫会長 13時30分

【表紙の謎解き問題の解説と答え】

下の四角が6つあることから、答えは6文字です。
まずは英単語を日本語(ひらがな)に変換しましょう。

- minute ⇒ ふん(分)
- six ⇒ ろく(数字の6)
- fly ⇒ とぶ(飛ぶ)

ひらがな6文字に変換できたら、あみだくじを1文字ずつ解いていけばOKです。



あみだくじを解いて出てきた言葉
「布団袋(ふとんぶくろ)」が正しい答えとなります。

謎解き練習問題.com 参照

木更津東ロータリークラブ事務局メールアドレス eastkisarazu-rc@nifty.com